学校番号	3005

令和２年度　工業科（建築系）

教科	工業	科目	建築構造	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	建築構造（実教出版）						
副教材等	建築構造演習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

木造建築物の全体的な構成を把握させ、各部の名称や役割、使用されている建築材料の名称や特性及び、部材の構成方法を理解させる。

用語については、できるだけ簡潔な表現で指導し、身近にあるものに例えることで、建築に対する興味と関心を持たせるようにする。

また、建築物の各部に作用する荷重に対して、安全性を理解した上で、その建築材料に関する課題解決ができる力を養う。

2　学習の到達目標

木構造では、在来軸組構法を中心に、部材の構成、木材の組立てや配置について理解させる。

また本科目は計画・設計製図・施工・法規といった科目の根幹をなす科目であり、建築への興味関心に働きかけ、能動的に知識・技術の習得する態度を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築構造に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	建築構造に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	建築構造に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	建築構造に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・ノート・プリントの記述・提出状況 ・出席状況 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・ノート・プリントの記述・提出状況 ・出席状況 ・定期考査の結果 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・ノート・プリントの記述・提出状況 ・出席状況 ・定期考査の結果 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・ノート・プリントの記述・提出状況 ・出席状況 ・定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	木構造	１．木材 ２．木材の接合 ３．基礎 ４．軸組 ５．小屋組 ６．床組	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○	a:建築構造に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を見つけようとしている。 b:建築構造に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の構造物について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。 C:建築構造に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、実際の建築現場を観察し、実習において実務的な技能を活用し、表現することができる。 d:建築構造に関する各種の構法・材料に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築構造技術の意義や役割を理解しようとしている。	学習状況の観察 ノート・プリントの記述・提出状況 出席状況 定期考査 自己評価及び相互評価等
後期	木構造	７．階段 ８．開口部 ９．外部仕上げ １０．内部仕上げ １１．木造枠組壁構法	 ○	 ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:建築構造に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を見つけようとしている。 b:建築構造に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の構造物について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創	学習状況の観察 ノート・プリントの記述・提出状況 出席状況 定期考査 自己評価及び相互評価等

							意工夫する能力を身につけようとしている。 C:建築構造に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、実際の建築現場を観察し、実習において実務的な技能を活用し、表現することができる。 d:建築構造に関する各種の構法・材料に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築構造技術の意義や役割を理解しようとしている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。